

多通貨決済サービス

自国通貨決済が行える環境を提供して 国内企業の海外消費者取込みをサポート

NTTデータのカード決済総合ネットワーク「CAFIS」において、外貨建てのカード決済に対応したサービスが「多通貨決済サービス」だ。これまでは、海外の消費者が日本の実店舗や日本企業運営のECサイトにおいてクレジットカードを使って商品を購入する場合、原則、円建てでしか決済を行うことができなかった。しかし、本サービスを利用することで、海外の消費者も馴染みのある自国の通貨で決済を行うことができるようになる。また本サービスは、日本のクレジットカード会社による外貨決済の提供を実現させた初の取組みだ。

国内で求められていた 外貨建てでのカード決済に対応

これまで日本国内では、基本的には円建てでしかカード決済を行えなかったため、海外消費者は日本の実店舗や日本企業運営のECサイトにおいて、自国通貨で決済をすることができなかった。

一方で、政府による外国人観光客の誘致政策や国内でECサイトを運営する日本企業の多くが海外展開を意識する動きを背景に、カード会社および加盟店双方から、海外消費者の取込みに向けて、より良いサービスを提供したいというニーズが高まってきていた。

しかし、カード会社が外貨建てのクレジットカード決済を加盟店に提供するには、ネットワークの制約や、カード会社の自社システムの外貨対応など、様々なハードルがあったため、日本国内での外貨建てのクレジットカード決済は、あまり普及していなかった。この影響を受け、海外に商圏を拡大しやすいインターネット上のECサイトにおいても、日本企業では円建てでのクレジットカード

決済が基本となり、海外の消費者は自国通貨での正確な支払額がクレジットカードの請求段階まで分からないため、購入を見合わせる要因の1つになっていた。

CAFISやBlueGateの仕組みを 活用した多通貨決済サービス

NTTデータは、このような状況を踏まえて、国内企業における海外消費者の取込みを、クレジットカード決済の側面からサポートできるよう、カード決済総合ネットワーク「CAFIS」の仕組みを活用した「多通貨決済サービス」の提供を検討してきた。

「外貨建てのカード決済の実現に向けた検討を重ね、2012年4月から、まずはECサイト事業者を対象としたクラウドサービスである『BlueGate』において、多通貨決済サービスの提供を開始しました。ECサイト事業者向けに提供される機能は、外貨建ての与信照会電文を本サービスを利用しているカード会社に中継する機能と、外貨建ての売上データを代行作成して本サービスを利用しているカード会社に中継す



(株)NTTデータ 第一金融事業本部
カード&ペイメント事業部
営業統括部 ビジネス企画担当
課長 内山 尚幸氏

る機能、そして、取引履歴を閲覧できる検索サイトの提供です。」(内山尚幸課長)

また、多通貨決済サービスを利用することで、ECサイトを運営する加盟店では、次のようなメリットを得ることができる。

◆**海外へ商圏を拡大可能**：外貨建てでクレジットカード決済を行うことが可能となるため、海外の消費者が購入時点で支払額を知ることができるようになる。これにより、海外向けの商圏拡大が期待できる。

◆**円建てによる入金**：本サービスを利用して決済を行った売上代金は、加盟店に対し円建てで支払われるの

で、加盟店は外貨取り扱いに関する業務負担を大幅に軽減することが可能だ。

◆**低リスクで外貨建てクレジット決済を導入可能**：多通貨決済サービスを導入する国内カード会社と加盟店契約を行うことで、日本ならではの高い信頼性やサービス品質のもと、外貨建てのクレジット決済を導入することができる。

ビジネスモデルと合致した 極めてシンプルなシステムを提案

NTTデータは、多通貨決済サービスのファーストユーザーとして、三井住友カードに本サービスを提供。また、三井住友カードと加盟店契約を結んでいるPeach Aviationが、本サービスを利用したECサイトにおける外貨建て航空券販売を2012年4月から開始した。なお、日本のカード会社によるECサイト上での外貨建てのクレジットカード

決済の提供は、本件が国内初の取組みになる。

日本初の本格的LCC（ローコストキャリア）として2011年2月に設立されたPeach Aviationは、「“桃”が空を飛ぶ時代」「アジアの空をもっと近く、面白くする」などのキャッチフレーズで、関西国際空港を拠点にスピード感あふれる事業を展開している。就航1周年を迎えた2013年3月1日の時点で、保有機材7機、国内線5路線、国際線3路線、1日46便を運航するネットワークを持つまでに成長していた。

国際線の拡大に伴い、扱う通貨の種類が増えてくることから、Peach Aviationでは「効率的な多通貨決済は海外展開の生命線であり、多通貨システムの導入は、実際に就航する前から視野に入っていた」と語る。Peach Aviationが多通貨決済に求めた要望は、初期投資にもオペレーションにもなるべくコストをかけず

に済むシンプルな構成で、なおかつ、どの国の利用者にもストレスなく簡単・便利に決済を完結できるシステムであること。複数のベンダーから提案を受けたが、Peach Aviationのイメージにぴったりの極めてシンプルなシステムを「ゼロから作りましょう」と提案したのがNTTデータだった。

また、サービス開始までの最大の課題が、納期だったようだ。システム構築の話が具体的にスタートしたのが2011年の暮れ。翌年の5月には国際線の就航がスケジュールリングされていたため、少なくとも3月にはシステムが完成していなければならない。連日長時間に及ぶ打ち合わせを重ね、完成間近には数日単位での要望事項の変更・確認を繰り返した結果、予定通りECサイトでの外貨建て航空券販売を2012年4月から開始した。

「当社の提案に基づき、協議を重ねながら作り上げた多通貨決済サービスは、海外の利用者が外貨建てでクレジットカード決済を行えるクラウド型サービスです。利用者は各国の通貨で決済を完結。Peach Aviation様は、外貨で販売しても円で入金を受けることができます。」（内山課長）

NTTデータは、実店舗での多通貨決済を実現できるようシステムの開発を進めている。今後は、免税店やホテルなど、外国人の利用が多いところからサービスを提供していく予定だ。

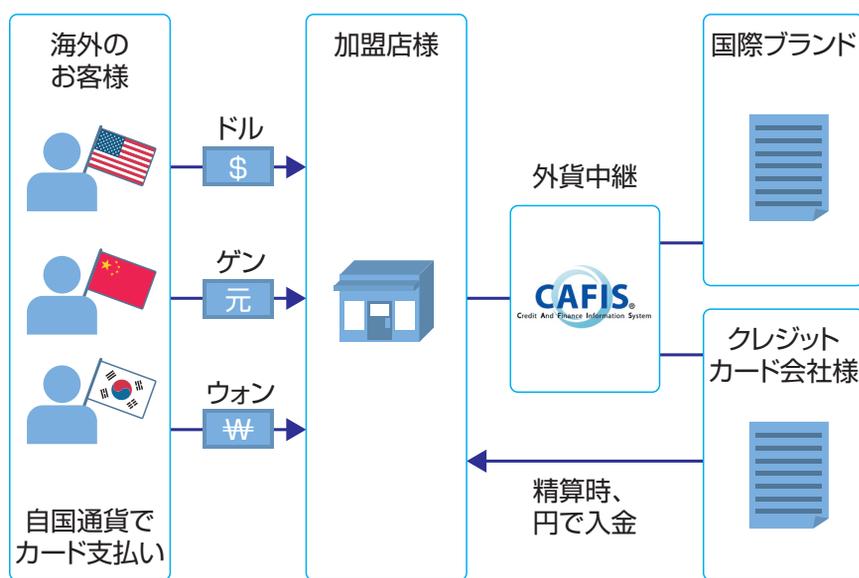


図1 多機能決済サービスの概念図